

会 議 録

会 議 名	2024 年度東浦町学校給食センター運営委員会	
開 催 日 時	2024 年 7 月 11 日（木） 午後 1 時 15 分から午後 2 時 00 分まで	
開 催 場 所	東浦町学校給食センター 2 階会議室	
出 席 者	委員等	山崎千聡氏（委員長）、浅井真司氏（副委員長）、日高啓量氏、森雅祥氏、大島泰子氏、岡田拓磨氏、山腰寛子氏、太田美紀氏、祖母井彩乃氏、長坂浩美氏、青木俊氏、安井光紗乃氏、 ※出席委員 12 名、欠席 3 名
	事務局	庄子教育長、横井部長、長坂学校教育課課長兼学校給食センター所長、大塚学校教育課課長補佐兼学校給食係長、小田栄養教諭、中山栄養教諭、田中統括責任者（調理等委託業者）
議 題 等 （公開又は 非公開の別）	1 2023 年度東浦町学校給食センター運営実績について（公開） 2 2024 年度東浦町学校給食センター運営計画について（公開） 3 その他（公開）	
非公開の理由 （会議を非公開とした理由）		
傍 聴 者 の 数	0 名	
審議内容	◆事務局 傍聴の申し出がないことを報告。 教育部長のあいさつ。 各委員の自己紹介。 ◆委員長・副委員長選出 出席委員より、委員長は町 P T A 連絡協議会会長山崎千聡氏に、副委員長は町校長会長浅井真司氏を推薦するとの発言があり、満場一致で承認。以降、議事進行は委員長が行う。 ◇委員長あいさつ	

◇委員長

委員の出席及び会議の成立を確認。

次第に従い議事を進める。議題1「2023年度東浦町学校給食センター運営実績について」及び議題2「2024年度東浦町学校給食センター運営計画について」を議題とし、事務局から説明を求める。

◆事務局

議題1について説明。

2022年度から調理業務等を3年契約で民間委託している。小学校・中学校ともに191回給食を実施した。

小中学校の児童生徒数は、小学校の児童数は2,767名、中学校の生徒数は1,427名であった。

食物アレルギー除去食は、小学校11名・中学校4名の計15名対応している。

卒業お祝い給食は、事前に小学6年生と中学3年生にアンケートを実施し、ランキング上位のものを組み合わせて提供した。中学校3年生は、2月29日に『ご飯、牛乳、米粉カレー、鶏のから揚げ、照り焼きチキン、きなこ揚げパン、コーヒー牛乳の素』、小学校6年生は3月15日に『きなこ揚げパン、牛乳、焼きそば、鶏のから揚げ、ハンバーグ、フルーツポンチ』を提供した。

デザートセレクトは12月20日に全学校、全学年を対象にいちごのカップケーキ・豆乳プリンタルトの2種類から1つ選べるものを実施した。

2023年度についても各小中学校の残菜が増加している。偏食等を改善させるため、栄養教諭による「食の巡回指導」を実施している。また、隔月開催の給食主任会議で子どもたちの献立に対する反応を確認しながら、献立づくりをしている。

議題2について説明。

2024年度については引き続き、調理業務等を民間委託して給食の提供を実施していく。

※主な質疑、応答は次のとおり

◇委員

昨年の運営委員会において卒業スペシャルランチについてアンケートを実施して子どもたちの記憶に残る給食の提供をしてはどうか？という提案をしたが、さっそく採用してもらえてうれしく思う。とても、夢のある献立内容になっていた。

	◇委員 卒業スペシャルランチについては、子どもたちが献立について『神だ!』と絶賛していた。家庭での話題づくりもなって大変良かった。今後も続けてほしい。 ◇委員 子どもから「給食に毎日出る食べ物は何？」という給食に関するクイズを出され、答えは「にんじん」とのことだった。本当にそうなのか？ ◆事務局 にんじんは、栄養面・作業面等からも使用頻度の高い食材となっている。必ず使用しないとイケない食材というわけではないが、にんじんが使用されないのは、月1回程度である。 ◇委員 スライスパンの提供はされないのか？ ◆事務局 提供することもあるがあまり出ていない。スライスパン提供にあたっては、塗るもの（ジャム等）が欲しくなり、近年主食に甘いものを提供することが減っているという現状もある。 子どもたちは、「自分で挟んで作る」といったことは好きなので、今後スライSPANを取り入れた献立も考えていきたい。 質疑、応答が終了。 議題については原案のとおり承認と決定。 議事の終了を宣言する。会議が閉会。 ■ 3 その他 (1) 飲用牛乳の代替食（調整豆乳）の提供について ◆事務局 資料に沿って説明。（2学期からの対応：小学校2名、中学校1名） ◇委員 代替食提供者が休みだった場合、残った調整豆乳は他の児童生徒が飲んでもよいのか？ ◆事務局 欠席時の対応について、まだはっきり決まっていないため、今後検討していく。
--	---

	◇委員 乳アレルギーではない乳糖不耐症等の児童生徒も対象となるのか？ ◆事務局 医師の診断書があれば、対象とする。 ◇委員 調整豆乳の検食については、全ての学校で実施するのか？ ◆事務局 検食は、給食センターのみで実施していく。 ◇委員 提供開始が2学期（9月）からということだが、来年度は4月から提供開始できるのか？ ◆事務局 在校生については、飲用牛乳の代替食があるということを今回の通知で知っていただけたと認識している。したがって、今後新たに提供を希望する場合は、届出書を提出していただいた次の学期から対応できるようになっている。また、新1年生については、就学時検診や入学説明会等で周知をはかり、事前に申請いただくことで4月から対応できる準備をしたいと考えている。 （2）東浦町食物アレルギー対応委員会について ◆事務局 資料に沿って説明。 ※質疑なし （3）リボーンの日について ◆事務局 資料に沿って説明。 町としては、給食のリボーンの日の他にも、「ひがしうら Re-Born グルメぐるぐるキャンペーン」などを実施している。 ※質疑なし
--	---

	(4) 給食費について ◆事務局 資料に沿って説明。 給食費については、3年に1度のサイクルで見直しをしていきたい。 ◇委員 来年度についても、保護者負担額はかわらず小学校 250 円、中学校 290 円なのか？ ◆事務局 現在のところ来年度の交付金等の見込みが立っていないため、保護者負担額は小学校 280 円、中学校 330 円の予定である。(給食費と同額) (5) その他 ◇委員 献立については、試行錯誤して栄養教諭が立てて、思いを込めて給食を作っている。ぜひ、家庭でも給食について子どもと会話をしてほしい。 ◇委員 夏休み中の児童クラブへの給食提供については、どうなっているのか？ ◆事務局 今年度は児童課が試行期間として、宅配弁当の斡旋をすることになっている。現時点での給食センターからの提供は考えていない。 ◆事務局 ふれあい教室(不登校や引きこもり等の児童生徒の自立を支援する事業)や千種聾学校ひがしうら校舎への給食提供に触れ、他市町では実施の少ない取り組みについて紹介した。 ■閉会を宣言
--	---